

令和3年度学校経営評価アンケート（保護者編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

「服装や礼儀」「食や健康・安全」「基本的な生活習慣」等について、90%前後の肯定的な回答が寄せられた。本校の学校教育目標にもある「四つの約束」とも重なる部分が多く、学校と生徒が同じ目標を共有し、その目標達成に向けて進んでいる現状を確認できた。また、設問24の「お子さんは楽しく学校生活を送れている」に対して88%の肯定的な回答が得られた。学校としては、多くの生徒たちが充実した学校生活を送れていると保護者の方々に受け止めていただけたことを非常にうれしく思う。

一方で全員が満足できている訳ではないという現実を真摯に受け止め、100%の生徒が楽しいと思えるような学校になるように引き続き努力を重ねていきたいと思う。

また、肯定的な回答が得られた背景には、保護者の方々からのご協力があったからこそものと捉えている。より学校と保護者（家庭）が連携をし、生徒を育ていけるような環境づくりに今後も努めてまいりたい。

2 否定的な回答が多かったもの

「定期テスト・学習への取り組み」に対しては否定的な回答が20%を超えた。生徒のアンケートにおいても、同様の結果が得られている。今後は、保護者の協力も得ながら、テスト計画の立て方だけではなく、その後の取り組みに対するフォローまで行っていきたいと考える。また、授業改善はもちろんのこと、予習・復習を含めた学習方法や、学習内容の定着に向けた家庭学習の方法等について、授業の中で随時触れていくように留意してまいります。

設問7「学校は一人ひとりを理解し、個性を大切にしている指導を行っている」に対しては18%の否定的な回答が寄せられた。自由記述にも寄せられた意見を参考に、全体だけではなく、生徒個々に目を向けながら指導・支援にあたっていきたいと思う。

3 不明（わからない）の回答が多かったもの

「分からない」という回答が20%を超えた設問が3つ挙げられる。設問6「学校は特別に支援が必要な生徒など、一人ひとりを大切にしている指導を行っている」、設問14「学校は分かりやすく工夫された授業を展開しており、生徒の学習意欲を高めている」、設問11「学校はいじめや暴力のない学校づくりに努めている」の3つである。

平成16年度より本校にも特別支援学級が開設された。社会情勢の変化にも伴い、現代において特別に支援が必要な生徒に対する配慮は欠かすことができない。同時に、一人ひとりを大切にしている教育についても全教職員で認識しながら推進しているところである。より多くの実践を積み重ねるとともに、その実践や成果について周知できるように努めてまいります。

現在は各種たより等を定期的に発行し、生徒の様子を保護者（家庭）に届けるように努めている。生徒の活躍を伝えることが多く、設問14に関するような日々の授業についてお知らせすることは少ないのが現状である。今後は、行事等における生徒の活躍とともに授業の様子も積極的に伝えし、日常の学校の様子を、より保護者（家庭）にお知らせできるようにしたい。

令和3年度学校経営評価アンケート（生徒編） 考察

1 学習面

学習面において、否定的な回答が多かったものが2つ挙げられる。設問7「私は校内テストに向けての計画を立て、しっかり取り組んでいる」と設問8「私は家庭学習の習慣がついている」である。

特にテスト計画に関わる設問7については、半数以上の生徒が否定的な回答「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択している。これまで定期テスト2週間前にはテスト範囲を配付し、テスト計画を立てる時間を確保している。しかし、実態として否定的な回答であることから、これまでの方法では十分に満足した結果が得られていないことがうかがえる。保護者のアンケートからも同様の回答が得られた。今後は、テスト計画の立て方について改善点を指導し、保護者の協力を得ながら、その後の取り組みに対するフォローまで行っていく必要性を感じる。

また、設問8に関して、学習方法は教科によって異なる部分がある。年度初めの各教科のオリエンテーションの中で、学習方法について言及することになっている。それに加え、予習・復習を含めた学習方法や、学習内容の定着に向けた家庭学習の方法等について、随時アドバイスしていけるように努めていきたい。

2 生活面

生活面において否定的な回答が多かったものが2つ挙げられる。設問9「私は自分の意見をきちんと言える」と設問18「私は規則正しい生活を送っている（早寝・早起き等）」である。

コロナ禍において、生徒同士の対話・やりとりを重視した授業（アクティブラーニング）が制限される期間があった。本校の生徒は自分の意見や考えを持っていながらも、その意見を表明することに消極的な部分がある。日頃から生徒同士の対話や意見交換、教え合い等を取り入れた授業形態を実践する。また、学級活動や行事等においても生徒の意見交換を通した取り組みを進めるなど、活動を工夫しながら意見を言う環境を整備し、自信をもって発言・発表ができるような環境づくりに努めていきたい。

規則正しい生活については、早寝早起きや時間を守ること等、家庭と連携しながら今後も働きかけていきたいと思う。

3 学校生活全般

学校生活全般において否定的な回答が多かったものが2つ挙げられる。設問22「私は先生から信頼されていると感じる」と設問32「悩みや困ったことがあるとき、私は先生に相談することができる」である。

両設問とも先生と生徒との人間関係に起因したものである。本校の課題と捉え、教職員全体で共有しながら改善に取り組んでいるところである。生徒との対話の機会を確保するとともに、生徒の言葉に耳を傾けられる相談体制の確立に引き続き努めていきたいと考える。また、生徒が主体となって取り組む活動場面をより多く増やし、その成果を認め合えるような人間関係や環境づくりを構築し、生徒それぞれが自己肯定感を高めていけるように尽力していきたい。